



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 25th April 2018

IDF プレスリリース

2018年4月25日、ブリュッセル発

乳房の健全性の増進と生産性の向上を目的とした搾乳作業の革新的レビュー

Innovative review of milking practices aims to enhance udder health and boost productivity

動物の健康とウェルフェアの実践をさらに発展させるための国際的な酪農セクターの努力は、今般の、牛及び小反芻類の過搾乳の低減を目的とした科学的レビューの発刊により、さらに強化されている。過搾乳は、乳房から乳汁がわずかしか又はまったく出ていない状態で搾乳装置が装着されたまま残されている時に起き、それによって乳房の組織にストレスを与え、搾乳効率の低下をもたらす。現在、搾乳装置の最適な離脱についての国際的ガイドラインの策定に取り組んでいる国際組織はない。そのため結果として、各国の推奨する乳牛と小反芻類の両方に対する離脱方法には、国により大きな違いが生じている。

国際酪農連盟は、これらの問題に注目して今般、過搾乳と戦い、最大限の生産効率を確保する報告「乳牛と小反芻類のためのティートカップとクラスターの離脱方策：レビューと推奨」を出版した。このレビューは、専門家のアドバイスを望む搾乳機器サプライヤー、酪農アドバイザー、及び酪農作業者に、どのように自身の搾乳技術と乳質に関する懸念に取り組むか、特に最適なティートカップとクラスターの離脱の設定の選択に関して最善の実務ガイダンスを提供する。

IDF 事務局長 **Caroline Emond** は以下のように述べた。「世界中の酪農セクターの一致した声を代表する機関として、IDF は勤勉な研究、豊富な経験、他の追随を許さない科学的専門知識に基づくガイダンスを提示する独自の立場にある。」「IDF は、最高水準のアニマルウェルフェアを取り入れた環境負荷の小さい方法で生産された、安全で、栄養価の高いそして持続可能なミルクを楽しむことのできる世界に向かってまい進することを決断する。」「このレビューは、世界中の酪農セクターに有益な、最適なティートカップとクラスター離脱の方策についての、どんな場面でも役立つ一連のガイドラインの提供に役立つであろう。」

IDF 搾乳機器及び方法アクションチームのリーダーRalph Ginsberg は以下のように述べている。:「自動クラスター離脱装置は、明らかに、過搾乳の削減、機械のやりくりの軽減、乳房の健全性の改善を導いてきた。」「この出版物の目的は、搾乳技術の世界的リーダーとして認められた IDF メンバーから、搾乳装置サプライヤー、搾乳指導者、及び技術者にガイドラインを提供することである。」

翻訳： J I D F 事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。